

保護者各位

登別市立登別小学校長  
松 田 周 一

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

残暑の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動の推進に対しまして、ご理解、ご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、4月19日（火）、本校におきまして、6年生を対象として標記調査を実施したところでございますが、過日、国より調査の結果が届きました。その中で、前年度までの国語、算数、理科の学力定着状況について、また、児童の学習状況にかかわっての貴重な分析結果を得ることができました。今回の結果につきましては、当該学年の結果としてだけでなく、本校の5年間の学びの足跡としてとらえ、これからの学習指導、生活指導等に活かしてまいります。下部・裏面には、各教科並びに児童質問紙の結果の概要、全国平均との比較について記載しておりますので、ご覧ください。

6年生のお子さん一人ひとりの個人別の結果に関しましては、学習内容の定着度を把握し、さらなる個に応じた指導に役立ててまいります。また、個人票につきましては、個別にお子さんを通じて各ご家庭にお返しいたします。6年生の保護者様は本資料と個人票を、また、それ以外の学年の保護者様は、先般の標準学力調査の結果と合わせてみていただくことで、今後のお子さんへのご家庭での指導の一助として、役立てていただけますと幸いです。

最後に、本調査により測定できるのはあくまでもお子さん一人ひとりの学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

1：調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2：調査概要

- ① 小学校6年生、中学校3年生
- ② 国語科、算数科（数学科）、理科
- ③ 生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙

3：調査結果（本校の矢印は、全国との差を表しています。）

<平均正答率（%）>

	本 校	全国平均	全道平均
国 語	↑	65.6	64
算 数	→	63.2	61
理 科	↗	63.3	63

<矢印の意味>  
 全国平均正答率と、本校の平均正答率の差を表しています。  
 ↑：上回る  
 ↗：やや上回る  
 →：同程度  
 ↘：やや下回る  
 ↓：下回る  
 ※市と道の結果につきましては、四捨五入して公表されております。

<観点別・問題形式別正答率（%）>

	①国語科			②算数科			③理科		
	本校	全国平均	全道平均	本校	全国平均	全道平均	本校	全国平均	全道平均
知識・技能	↑	70.5	69.9	→	68.2	66.3	↗	62.5	63.2
思考・判断・表現	↗	62.0	60.4	→	56.7	54.3	↗	63.7	62.7
選択式	↑	71.8	70.6	↘	51.8	50.6	↗	66.8	66.3
短答式	→	63.6	63.5	→	76.5	74.2	→	66.2	67.7
記述式	↘	51.3	48.8	↑	60.2	57.0	↑	47.3	45.3

## <結果分析と今後の学習について>

### <国語科>

・全体として、全道・全国の平均を上回る結果となりました。観点別・形式別で見ると、知識や技能に関する正答率が高く、記述式の問題は、全国に比べ正答率が低くなりました。問題別で見ると、記述式の問題3問すべてが、総じて全国に比べ正答率が低いか、無回答率が高くなっており、問われている内容を、明確にまとめたり表現したりすることに課題が認められました。また、漢字を書く問題では、正答率が高い一方、無回答率の高さも認められました。

○学校では、朝学習や繰り返しの小テストを中心とした、基礎・基本の定着はもとより、「叙述を基に」「筆者の主張を基に」「○字程度(以内・以上)で」など、「求められている条件に沿って書く」力が、年齢に応じて身に付くよう、学習活動を工夫してまいります。

### <算数科>

・全体として、全道の平均よりやや高く、全国の平均とほぼ同程度の結果となりました。観点別・形式別で見ると、記述式の問題の正答率が全国に比べて高くなっている一方、無回答率も高い結果となりました。問題別で見ると、計算の答えの見積もりや、概数にかかわる問題、割合や百分率(%)に関する問題、また、プログラミング的思考を問う問題の正答率が、総じて全国の平均正答率より低く、課題が認められました。

○学校では、加減乗除の基礎的計算力の定着はもちろん、小学校中高学年段階で、特に苦手な子が多いとされる、割合、概数に関する単元の学び直し、学習活動の工夫に努めます。また、プログラミング的思考を育む学習を、総合的な学習の時間を中心に様々な教科でとり入れてまいります。

### <理科>

・全体として、全道、全国の平均正答率よりやや高い結果となりました。観点別・形式別で見ると、どの観点、問題形式でも、全国の平均よりやや高い結果となっている一方で、特に記述式問題の無回答率の高さも認められました。問題別で見ると、3年生で学ぶ「昆虫の体とつくり」に関する問題、日光や天気と気温との関係に関する問題、また、示された実験結果や、条件を基に、解釈して考察を記述する問題の正答率が低くなっており、課題が認められました。

○昆虫や、天候に関する学習は、主に中学年で行う学習ですが、天気・自然が相手なことから、適宜適切なタイミングで実験や観察をすることが難しい単元です。学校では、今後も、時期を逃さず観察と実験を大切に学習活動を行うとともに、ICTを適切に活用して、学びを補充深化する工夫を重ねてまいります。また、実験の条件や仮説、また、時には、「教科書と違う結果となったのはなぜか」など、状

況に応じて、考えをまとめ伝えあう学習の展開に努めてまいります。



### <質問紙>

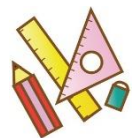
・全国の平均と比べ、著しく差があった質問項目は以下の通りでした。(質問項目の一部を抜粋) 特によくなかった項目については、学校全体の課題としてとらえ、授業改善、各ご家庭・地域との連携により、改善を図ってまいります。

#### ○よかった質問項目

- ・毎日同じくらいの時刻に起きるか。
- ・自分にはよいところがあるか。
- ・学校に行くのは楽しいか。
- ・自分で計画を立てて勉強しているか。
- ・1日1時間以上勉強しているか。
- ・読書は好きか。
- ・自然観察をするか。
- ・タブレットを使った学習をしているか。
- ・友達と話し合い活動で考えを広げているか。
- ・クラスで話し合っ、努力すべきことを決めているか。
- ・道徳では、自分の考えを深めたり、考え方を広げたりしているか。
- ・算数の学習で、粘り強く取り組んでいるか。簡単な方法を考えているか。

#### ▲よくなかった質問項目

- ・携帯電話やスマートフォンの使い方の約束を守っているか。家庭での約束があるか。
- ・1日当たりのゲームの時間
- ・自分で決めたことをやり遂げるようにしているか。
- ・1日10分以上読書をするか。新聞を読むか。
- ・地域の行事に参加したり、地域の人と関わったりするか。地域をよくするために考えることがあるか。
- ・国語の学習は好きか、よくわかるか。
- ・算数の学習は好きか、大切か、よくわかるか。
- ・算数、理科の学習は、社会で役に立つと思うか。
- ・算数、理科での学びを普段の生活とのつながりで考えるか。
- ・理科の勉強は好きか、大切か。



### <ご家庭では…>

- ・学校でのお子さんの健やかな学びには、家庭での生活リズムや学習習慣など、基本的な生活習慣の定着が欠かせません。今後とも、確実な宿題の取組、家庭学習の取組のご協力、お子さんへのお声かけをお願いします。(おおね学年×10分以上)
- ・また、今回の質問紙項目で明らかとなった課題の一つでもある、ゲームやスマートフォンから遠ざかる取組やご家庭での積極的な読書啓発のご協力、また、今後も継続して、早寝早起き朝ご飯、歯磨きなど、生活リズムを整える取組について、積極的なお声かけとご協力をお願いいたします。